

【森町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末を活用したグループ学習では児童生徒が自らの意見やアイデアを相互に発表・評価し合い、協働的な学びの実現とより一層の充実を目指す。また、AIドリルを活用することで、児童生徒一人ひとりの学習履歴に基づき、個別に適した問題を提示する仕組みを整え、個別最適な学びの実現を推進する。さらに、LTE回線とAIドリルを不登校や病気療養児童生徒への授業支援に活用し、さらに電子黒板を併用することで授業のライブ配信やアーカイブ動画の提供を行い、すべての児童生徒が平等に学びの機会を保障される環境を引き続き目指していく。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に1人1台端末を導入し、令和5年度の端末更新を経て、授業での端末活用がさらに広がっている。令和2年度のGIGAスクール構想に基づき、1人1台端末をLTE回線とともに整備したことで、児童生徒が家庭のネットワーク環境に左右されることなく学習活動に取り組める環境が実現された。また、この環境を活用することで、家庭学習だけでなく、学校内外の課外学習や校外活動においても端末を活用し、学びの幅を広げた。ICTの活用においては、教師ごとにICT機器やソフトウェアへの習熟度に差があるため、授業での活用状況にばらつきが生じている。この課題に対し、ICT支援員によるサポートや研修を実施することで、教師間のスキルの差を解消し、ICT環境をより効果的に活用できるよう取り組みを進めていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和6年度には町内のすべての学校においてAIドリルを導入し、授業中や家庭学習の課題配布をAIドリル上で実施出来る仕組みを整えた。これにより、課題の作成や採点作業が効率化され、教職員の働き方改革にも大きく貢献している。今後も現在のICT環境を継続的に使用できるよう対応を行いつつ、教職員や児童生徒にとってさらに利便性の高いICT環境を実現するための検討と対策を進めていく。